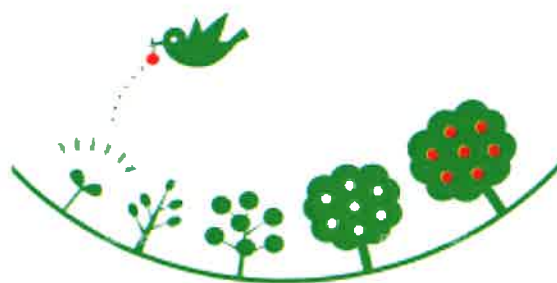


# 46期(2020年度)

2020年9月～2021年8月

## 環境経営レポート



協栄エコソリューション  
株式会社

発行日 2021年9月17日

# 組織の概要

## 1)事業所名及び代表者氏名

協栄エコソリューション 株式会社 (旧:株式会社 協栄産業) 2017年11月より  
 代表取締役社長 寺重 裕弘  
 設立 昭和50年9月  
 資本金 1200万円  
 URL <http://www.kyoto-kyoei.co.jp>  
 E-mail [kyoei@kyoto-kyoei.co.jp](mailto:kyoei@kyoto-kyoei.co.jp)

## 2)所在地

本社・工場 〒611-0041 京都府宇治市槇島町落合87-4  
 機材置場 〒611-0041 京都府宇治市槇島町落合88-5  
 TEL 0774-20-3225 FAX 0774-21-3818



## 3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 嶋崎 恵  
 連絡先 TEL:0774-20-3225 FAX:0774-21-3818  
 E-mail [me-shimazaki@kyoto-kyoei.co.jp](mailto:me-shimazaki@kyoto-kyoei.co.jp)

## 4)事業内容について

1975年創業以来、砂利砕石製造設備の設計施工販売で培ってきた破碎すること、選別すること、搬送することを軸とした技術を生かし、これからの地球環境問題に事業活動を通じて取り組む企業です。

耐摩耗鑄鋼品販売 各種破碎機	プラント設計・施工 廃太陽光パネルリサイクル	アフターサービス
		

## 5)事業規模

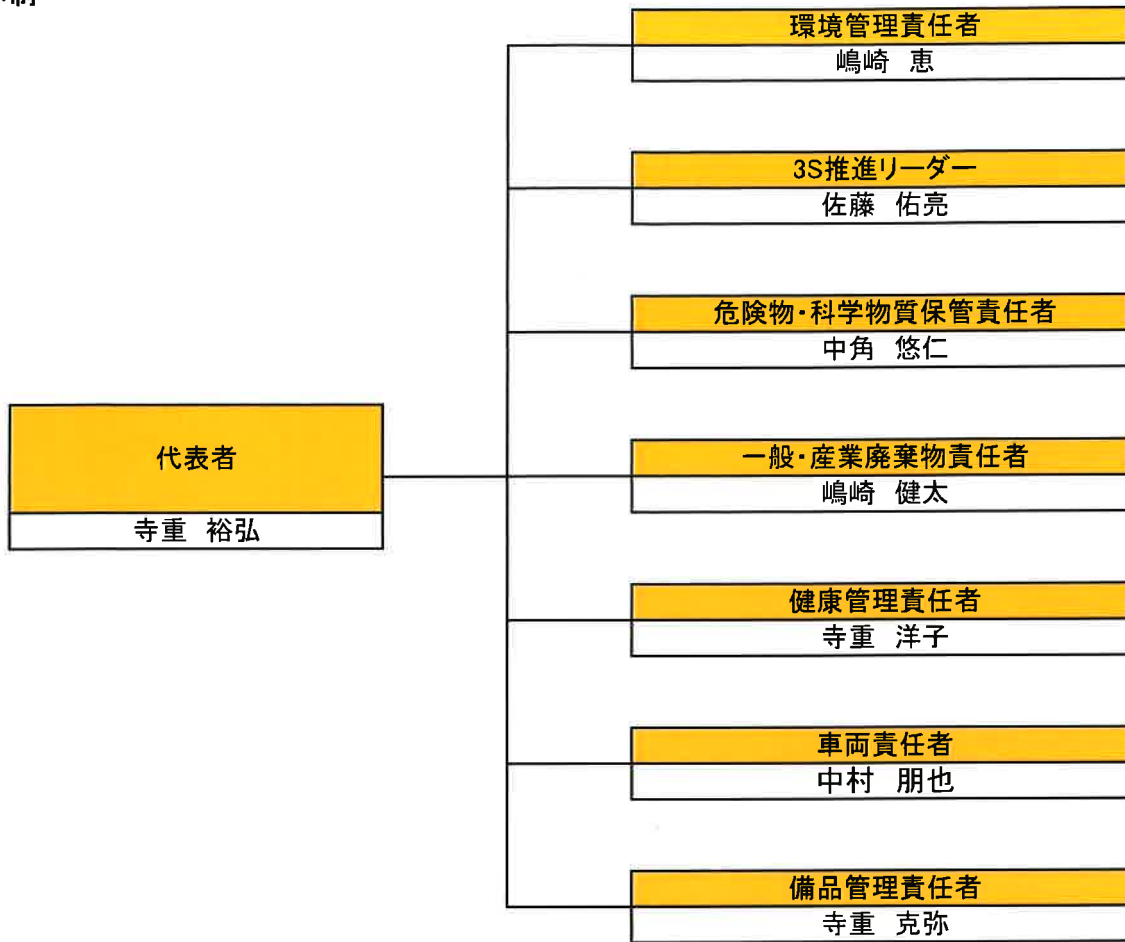
活動規模	単位	44期(2018年)	45期(2019年)	46期(2020年)
売上高	百万円	491	496	408
従業員	人	8	9	10
床面積	m <sup>2</sup>	600	600	600

## 6)事業年度 9月-8月

### □認証・登録の対象組織

- 登録組織名 宇治市槇島町落合87-4
- 活動内容 耐摩耗鑄鋼販売、プラント設計施工、アフターサービス
- 対象事業所 本社・工場・機材置場

7)実施体制



役割	責任及び権限	担当者
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の設定</li> <li>・従業員に対し、指示及び改善箇所の見直し</li> <li>・環境経営システムの総括責任者</li> <li>・改正等の確認及び指示</li> <li>・代表者による見直し</li> </ul>	寺重裕弘
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書類作成及びデータ入力</li> <li>・教育、訓練計画及び是正・指示</li> <li>・環境管理システムの是正・指示</li> <li>・法令改正等のチェック及び見直し</li> </ul>	嶋崎恵
3S推進リーダー	工場内の整理整頓 毎朝の10分間清掃	佐藤佑亮
備品・危険物・科学物質保管責任者	アセチレン、酸素、炭素ガスの在庫管理 塗料缶等管理	中角悠仁
産業廃棄物責任者	分別の徹底 保管場所の整理整頓	嶋崎健太
車両責任者	定期的な車両チェック確認、提出、改善 エコドライブの呼びかけ、指導	中村朋也
健康管理責任者	職場の衛生管理 健康診断実施責任者及び健康だより回覧	寺重洋子
備品管理責任者	消火器の期限確認 看板設置、チェック確認	寺重克弥

# 環境経営方針

## 環境理念

環境に配慮した事業活動を推進することにより、地球環境の保全に貢献し、社会から信頼される企業を目指します。

## 環境経営方針

当社は、環境理念を具体的に実現するために、環境マネジメントシステム(EA21)を構築・運用し、全社員参加のもと次のことを実施します。

### 1.環境負荷低減の推進

省エネルギー化の推進(二酸化炭素の排出量削減)  
廃棄物の削減・リサイクル化の推進  
環境に配慮したサービスを推進  
水資源の削減を推進  
化学物質の削減を推進  
グリーン購入の推進

### 2.目的・目標の設定、見直しおよび継続的改善

エコアクション21に基づき、定期的な見直しを図り、継続的改善を社員全員が協力して取り組む

### 3.法規制の遵守

環境関連の法規制および協定等を遵守する

### 4.全社員への周知

当社環境方針を社員全員に対し掲示する  
定期的な社員教育の実施

### 5.社外への公表

環境経営レポートを作成し、社外にも公表する

改正 2010.01.12

改正 2011.03.11

代表取締役 寺重 裕弘

# 環境経営目標

## 主な負荷の実績と環境目標

社員全員が意識を持ち、数値を把握しながら、取り組んでいきます。

基準値を45期(2019年)として、46期(2020年)0.5% 47期(2021年) 1.0% 48期(2022年)1.5% 49期(2023年)削減を目指す  
 奈良電力の2018年度のCO<sub>2</sub>排出係数は0.522kg-CO<sub>2</sub>/kWh

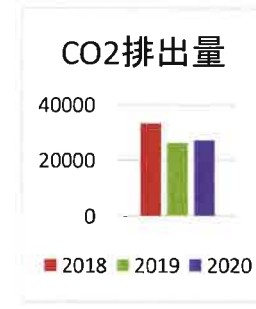
インプット項目	単位	項目	45期	46期(今年度)	46期	47期	48期	49期
			2019年	2020年	2020年	2021年	2022年	2023年
			基準	0.5%削減目標	実績	1.0%削減	1.5%削減	2.0%削減
購入電力投入量	kWh	目標	11,693	11,635	11,892	11,577	11,519	10,943
灯油投入量	L	目標	370	368	249	366	364	362
ガソリン投入量	L	目標	3,940	3,920	4,695	3,900	3,880	3,860
軽油投入量	L	目標	6,768	6,734	5,747	6,700	6,666	6,633
低圧電力投入量	kWh	目標	1,524	1,516	3,896	1,508	1,500	1,493
化学物質投入量(塗料)	Kg	目標	300	299	273	297	296	295
化学物質投入量(シンナー)	L	目標	368	366	112	364	362	360
水資源投入量	m <sup>3</sup>	目標	175	174	262	173	172	171
総エネルギー投入量	MJ	目標	34,371	34,199	34,812	34,028	33,858	33,689

アウトプット項目	単位	項目	45期	46期(今年度)	46期	47期	48期	49期
			2019年	2020年	2020年	2021年	2022年	2023年
			基準	0.5%削減	実績	1.0%削減	1.5%削減	2.0%削減
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	目標	37,421	37,233	27,334	37,047	35,195	35,019
総排水量	m <sup>3</sup>	目標	175	174	262	173	172	171
一般廃棄物排出量	kg	目標	147	146	362	145	144	143
産業廃棄物排出量	kg	目標	143	142	0	141	140	139

\*二酸化炭素排出量に関しては、当社のCO<sub>2</sub>排出量から太陽光発電(100%売電)による社会のCO<sub>2</sub>削減量を差し引いた数値としています。

太陽光発電のCO<sub>2</sub>排出係数は0.000334t-CO<sub>2</sub>/kWh

項目	2018	2019	2020
一般廃棄物	297	295	362
排水量	221	245	262
CO <sub>2</sub> 排出量	33406	26444	27334
産業廃棄物	130	143	0
化学物質(塗料)	192	300	273
化学物質(シンナー)	96	368	112



# 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

取 組	2020年 度 達成 状況	次年度	評価  (結果と次年度の取組内容)
<b>電力による二酸化炭素排出量の削減</b> ・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃) ・生産工程の待機時間短縮 ・昼休みの消灯 ・不要照明の消灯 ・OA機器の省エネモード設定 ・生産設備のムダ防止 ・白熱灯をLED電球に交換	未達成 ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	継続 継続 継続 継続 継続 継続 完了	空調の温度は、温湿度計を用いて温度管理をするので、なかなか適正化と呼ばれる設定にはならないが、今後もコロナ対策も踏まえ、密を避けながら削減に努める
<b>自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減</b> ・アイドリングストップ ・急加速の抑制 ・冷房の控えめ使用 ・買換え時は燃費マークを優先する	達成 ○ ○ ◎ ◎	強化 強化 継続 完了	チェックシートを作成し、定期的に点検を行い削減に努める
<b>産業廃棄物の削減</b> ・分別保管場所設置 ・無駄のない材料手配	未達成 ◎ ◎	継続 継続	今年は、全くなく、分別も徹底し、リサイクルできるものは全てリサイクルできた
<b>一般廃棄物の削減</b> ・分別ボックスの設置 ・裏紙使用 ・古紙のリサイクル化	達成 ◎ ◎ ◎	継続 強化 計測	分別は徹底できているが、事務所の人数が増えたりまた引継ぎ等で書類が増えたりと、今後はもっとデジタル化できるものはしていきたい
<b>節水</b> ・雨水の利用 ・手洗い水量の適正化 ・清掃時の節水	達成 △ △ ○	強化 継続 強化	コロナ化で、手を洗う事が多くなったり、また現場が増えた事により、洗濯回数が増えた
<b>グリーン購入</b> ・事務用品はグリーンマークを選ぶ ・環境に配慮した製品を選ぶ	達成 ◎ ◎	継続 継続	グリーンマークを優先にて手配するように心掛けている
<b>製品への環境配慮</b> ・梱包の簡素化 ・部品交換時のリサイクル化 ・環境配慮設計(プラント、機械設備)	達成 ◎ ◎ ◎	継続 継続 強化	部品交換時、リサイクルとして利用できるものはしている
<b>社会貢献</b> ・地域との交流を深める	達成 ◎	継続	会社周辺及び地元の通路として利用できる道の草むしりなど率先してできている

## 環境への取組状況

環境保全の取組チェック結果

環境保全の取組チェックリスト

おおむね実施(3) 一部実施(2) 未実施(1) と評価点数とする

項目	2019年	2020年	満点	割合100%
<b>インプット、アウトプットに関する項目</b>				
節水、水の効率利用	2	2	3	
省エネに取り組んでいるか	3	3	3	
ペーパーレス化に取り組んでいるか	3	3	3	
両面印刷、両面コピーを徹底しているか	3	3	3	
空調の適温化を徹底しているか	3	3	3	
化学物質、危険物保管を徹底しているか	3	2	3	
アイドリングストップ等運転方法を配慮しているか	2	2	3	
使い捨ての製品の使用や購入を抑制しているか	3	3	3	
ごみの分別をしているか	3	3	3	
	25	24	27	94%
<b>環境関連法規制等の遵守状況に関する項目</b>				
法規制を整理しているか	3	3	3	
自社に対応する法規制の一覧表を作成しているか	3	3	3	
定期的なチェック体制があるか	3	3	3	
	9	9	9	100%
<b>環境コミュニケーションに関する項目</b>				
外部等意見や苦情、問い合わせなどの対応をしているか	3	3	3	
緊急連絡方法を定めているか	3	3	3	
	6	6	6	100%
<b>環境経営方針に関する項目</b>				
環境に対する方針が策定されているか	3	3	3	
方針を掲示しているか	3	3	3	
	6	6	6	100%
<b>環境活動に関する項目</b>				
目標数値を把握し、環境を目標を設定しているか	3	3	3	
緊急時等マニュアルや訓練を行っているか	3	3	3	
3S活動を推進しているか	3	3	3	
全社員教育を行っているか	3	3	3	
環境管理体制に基づき作業が進んでいるか	3	3	3	
	15	15	15	100%
<b>グリーン購入に関する項目</b>				
清掃時における洗剤は、化学物質の含有量が低い物を選んでいるか	3	3	3	
トイレットペーパーについて、シングル巻き芯なしを購入しているか	3	3	3	
使い捨ての製品の使用や購入を抑制しているか	3	3	3	
コピー用紙等事務用品を再生材料の製品で購入しているか	3	3	3	
	12	12	12	100%

★★3S活動★★

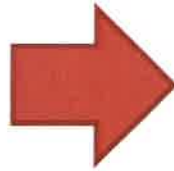
床塗装  
施工前

施工後



割れ窓理論を实践: 綺麗な床なら油が付いても気になるのでは……

春の清掃活動



ポイ捨てはまだまだ無くなりませんが、マスクもちらほら捨ててありますね(ー\_ー)!!

★★太陽光発電によるCO2削減★★

排出係数: 0.334kg-CO2/kWh(2019年)にて算出

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
電力量	2,444	1,774	1,628	1,278	1,211	1,140
CO2削減	816.3	592.52	543.75	426.85	404.47	380.76

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
電力量	1,625	2,256	2,689	1,886	2,130	2,332	22,393
CO2削減	542.75	753.5	898.13	629.92	711.42	778.89	7,479





★★ガソリン・軽油の燃費の統計★★

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	平均
1台目(ガソリン車)	18.4	20.4	20.1	15.1	16	16.3	19.5	20	18.2
1台目(軽油2t車)	14	8.6	8.8	8.2	6.4	8.3	8.5	8.7	9
2台目(軽油4t車)	4.2	3.7	6.1	4.4	4.2	4.4	3.4	3.8	4.3

	前年度	今年度
1台目(ガソリン車)	18	18
1台目(軽油2t車)	9	9
2台目(軽油4t車)	4	4.3

## 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規等	遵守状況	遵守報告
資源有効利用促進法	遵守	廃棄時、パソコンのメーカー回収に協力している
消防法	遵守	該当する物質は、密閉容器に保管している。
高圧ガス保安法	遵守	該当するガスは、高圧容器に保管している。
家電リサイクル法	遵守	対象家電(TV,エアコン、冷蔵庫、洗濯機)の適正処理を委託し、費用の負担を行っている
自動車リサイクル法	遵守	廃車時、適正に処理を委託している
廃棄物処理法	遵守	一般廃棄物は、自治体に従い処理をしている
		産業廃棄物は、法律の従い処理をしている
浄化槽法	遵守	専門業者に委託し、定期点検を実施している
フロン排出抑制法	遵守	年4回の定期検査を行っている

※2021年9月に環境法規最新情報の確認を行った。

※当社の業務範囲で該当する環境関係法規は、上記法規の規定内容を遵守している。

※なお、関係当局により違反等の指摘は過去三年間ありません。

## 代表者の見直し報告・結果

2020年1月頃から新型コロナウイルスの感染拡大により、我々の事業の中での建設業界に携わる部分で売り上げダウンなどの影響が出た1年でした。

またコロナ禍で、蜜を避けるために出張の為に車両台数を増やしたり、休憩所を新たに設けるなどで全体的に電力や燃料消費が増え、目的のCO2削減が厳しい1年でした。

ワクチン接種もある程度進んでいく中、若干感染症も減少傾向に向かっているように感じられ、事業活動も以前のような状態に戻りつつあるので、今後もCO2削減に向けた取り組みも社員一丸となり、定期的にミーティングなどを行い見直しし、CO2削減に努めていきたい。今後新たに若手社員も加わり新しい提案や目標なども見直し更にどんな取り組みを行っていくかなどまだまだ改善策をみつけていければと思います。